

固定資産税について

1. 課税の根拠

地方税法第342条及び343条並びに田野町税条例第54条に基づき、本年1月1日現在における固定資産課税台帳に登録されている所有者に賦課します。

課税明細書について

課税明細書には、あなたの固定資産税（土地・家屋）の対象となった固定資産について、所在地、価格、課税標準額等を表示しています。原則として、土地は一筆ごと、家屋は一棟（家屋番号）ごとに表示しています。

①区分	②土地又は家屋の所在地	⑥登記地積又は床面積(㎡)	⑨建築年	⑫不動産番号	固定	⑭課税標準額(円)	⑰本則課税標準額(円)
③登記地目又は種類・用途		⑦現況地積又は床面積(㎡)	⑩現況階層	⑬評価額(円)		⑮前年度課税標準額(円)	⑱軽減税額(円)
④現況地目又は構造		⑧非課税地積又は床面積(㎡)	⑪現況屋根			⑯減免税額(円)	⑲税相当額(円)
⑤家屋番号又は共用土地の持分割合		⑫備考					

記 載 事 項	記 載 内 容
① 区分	土地・家屋の別を表します。
② 土地又は家屋の所在地	土地の場所、家屋の建っている場所を表します。※住居表示とは異なります。
③ 土地の登記地目 家屋の種類・用途	土地の場合、登記されている地目を表します。 家屋の場合、建物を特定（識別）するための用途種類を表します。
④ 土地の現況地目 家屋の構造	土地の場合、評価されている地目を表します。 家屋の場合、建物の構成材料を表します。
⑤ 家屋番号 共用土地の持分割合	家屋の場合、登記の棟番号を表します。 土地を区分所有している場合、所有者の持分を表します。
⑥ 土地の登記地積 家屋の登記床面積	土地の場合、登記されている広さである地積を表します。 家屋の場合、登記されている広さである床面積を表します。
⑦ 土地の現況地積 家屋の現況床面積	土地の場合、評価されている広さである地積を表します。 家屋の場合、評価されている広さである床面積を表します。
⑧ 土地の非課税地積 家屋の非課税床面積	土地の場合、課税対象外（⑦の内訳）の広さである地積を表します。 家屋の場合、課税対象外（⑦の内訳）の広さである床面積を表します。
⑨ 家屋の建築年	家屋の場合、建築年を表します。※建築年が不明の場合、「不詳」と表します。
⑩ 家屋の現況階層	家屋の場合、地上・地下の階数を表します。
⑪ 家屋の現況屋根	家屋の場合、建物の主な屋根種類を表します。
⑫ 不動産番号	不動産を特定（識別）するための13桁の数字を表します。
⑬ 評価額	土地・家屋の今年度の評価額を表します。
⑭ 課税標準額	土地・家屋の今年度の課税標準額を表します。
⑮ 前年度課税標準額	土地の場合、前年度の課税標準額を表します。
⑯ 減免税額	土地・家屋の減免措置による固定資産税の減免税額を表します。
⑰ 本則課税標準額	土地の場合、負担調整措置が適用される前の課税標準額を表します。
⑱ 軽減税額	土地・家屋の減免措置による固定資産税の軽減税額を表します。
⑲ 税相当額	土地一筆・家屋一棟ごとの固定資産税相当額を表します。 減免措置の対象となる土地・家屋の場合、⑯の減免税額を差し引いた額になります。 新築住宅の軽減措置の対象となる家屋の場合、⑱の軽減税額を差し引いた額になります。
⑫ 備考	上記以外で記載する必要がある内容を表します。

※土地・家屋別の課税標準額合計額が一定の金額（免税点）未満の場合は、その物件には固定資産税は課税されません。
また、端数計算等の関係で実際の額（納税通知書に記載されている固定資産税の年税額）と異なる場合があります。